〈編集後記〉

尊　厳　絶　滅

理事会での雑談の折りに，四手井会長が「トキも家へ帰って死にてえだろうなー」とポツリと語られた。いわば「尊厳絶滅」だが，考えてみると，これは案外大切なことかもしれない。トキについては，私たちは，現在ほぼあきらめに近いものを抱いている。「家に帰してやって、畳の上で死なせる」ということは，彼らのすむ昔の環境を保証してやることであろう。その努力を放棄して，何とか延命装置で生き続けさせているのは，本来の自然保護とは少し違うのではないかと思えてくる。そうは言っても「尊厳絶滅させろ！」と声高に叫ぶのはかなり勇気がいることだ。次回のシンポジウムのテーマは『絶滅のおそれのある生物種の保護とはなにか』で，6月27日に京大会館で開かれることになっている。

創刊から15年。本号よりご覧のように表紙を一新した。表紙が美しくなることと，内容がよくなることは必ずしも同じではないが，内容を云々する以前の問題として原稿が足りないこと，相も変わらずである。なんとか絶滅を免れて生きながらえているというのが本会報の現状か（山岸哲）。